

平成 27 年度第 1 回（一社）日本生物物理学会理事会議事録

日時：2015 年 6 月 27 日（土）14：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室

出席者：理事総数 18 名 出席理事 15 名（代表理事を含む）

代表理事（会長）	中村 春木	理事（副会長）	高橋 聡
理事（副会長）	永井 健治	理事	新井 宗仁
理事	石島 秋彦	理事	内橋 貴之
理事	佐甲 靖志	理事	佐藤 竜馬
理事	高田 彰二	理事	寺沢 宏明
理事	中井 孝尚	理事	根岸 瑠美
理事	広瀬 恵子	理事	古谷 祐詞
理事	光武 亜代理		

監事総数 2 名 出席監事 2 名

監事	片岡 幹雄
監事	有坂 文雄

オブザーバー：

欧文誌編集委員長	石渡 信一
ホームページ編集委員長	北尾 彰朗
平成 26 年度理事	七田 芳則
平成 26 年度理事	船津 高志
平成 26 年度理事	石森 浩一郎
平成 26 年度理事	今元 泰
平成 26 年度理事	須藤 雄気
平成 26 年度理事	寺北 明久
平成 26 年度理事	政池 知子
平成 26 年度理事	村上 緑

陪席者：

学会本部事務局 垣内 香里

議長：代表理事（会長） 中村 春木

議事録作成者： 理事 佐藤 竜馬

報告および審議事項：

報告事項：

1. 平成 27 年度年会準備状況（内橋）：報 1

2. 平成 28 年度年会準備状況（新井）：資料なし
3. 出版委員会報告（船津・永井）：報 3
4. 第 4 回 BIOPHYSICS 論文賞選考委員会報告（七田）：報 4
5. 男女共同参画・若手支援委員会報告（有坂・高橋）：報 5
6. 男女共同参画学協会連絡報告（有坂・高橋）：報 6
7. 会員除籍と会員数の報告（須藤・今元・古谷・光武）：報 7
8. 日本学会議生物物理学分科会報告（永井）：報 8
9. IUPAB・ABA 関連事項（永井・金城・野地・高田）：報 9
10. 賞・助成金推薦員会報告（船津・永井）：報 10
11. 支部報告（支部長代理）：報 11
12. 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインについて（中村）：
報 12

議題：

1. 会長・副会長の選任：資料なし
2. 平成 30 年（2018 年）年会開催地について（中村）：議 1
3. 会議等の英語表記について（中村）：議 2
4. 細則の変更について（中村）：議 3
5. 名誉会員規程の変更と名誉会員候補の承認について（中村）：議 4
6. 顕微鏡学会との連携について（中村）：議 5

議長選任：

会長選任手続前であるため、定款第三十一条より会長が欠席した場合と解釈し、議長選出を行った。理事中村春木が選ばれて議長となり開会を宣し直ちに議事に入った。

定足数の確認：

理事会の審議に先立ち、議長中村春木より、定足数を満たしており、定款第三十二条の規定により理事会が成立していることが報告された。

報告事項：

1. 平成 27 年度年会準備状況（内橋）：報 1

安藤年会実行委員長代理の内橋理事から、金沢年会準備状況の報告があった。

5 月 27 日から 6 月 3 日に演題登録締切を延長した。6 月 26 日に参加登録締切。演題登録状況について、900 件の一般発表演題登録、241 件のシンポジウム登録とシンポジウムに関して昨年を上回る登録があった。事前参加登録：1224 名（6 月 22 日現在）であった。8 月中旬頃、プログラム集の一斉発送を行う予定である。アプリに関しては 9 月上旬に公開予定。展示・ランチョン・広告については、ランチョンが 9 件（9 の企業・団体）、展示が 31 件（34 小間）、予稿集広告が 14.5 ページ、うちわ広告が 4 件、HP バナー広告が 2 件となっている。市民講演会については、「生物発光が拓く未来社会」という演題で永井健治氏にご講演いただくことになっている。日時は 9 月 12 日（土）14：00～16：00、会場：石川教育会館ホール。参加者に「一家に一枚：動く！タンパク質」ポスターを提供予定である。

2. 平成 28 年度年会準備状況（新井）：資料なし

豊島年会実行委員長代理の新井理事から、つくば年会準備状況の報告があった。

市民講演会は東京大学 駒場キャンパスで開催予定。時期は検討中。

3. 出版委員会報告（船津・永井）：報 3

永井出版委員長から、会誌編集委員会の報告があった。今年は光に関する年であるため光関連の特集を 7 つ集めた特集号を組む予定となっていることが報告された。

石渡 BIOPHYSICS 編集委員長から、BIOPHYSICS 投稿状況について報告があった。これまでの投稿数は 13 編（昨年 29 編、査読中 10 編）であった。誌名変更手続きについて、BIOPHYSICS 新名称検討 WG（石渡氏、七田氏、中村氏、船津氏、永井氏、片岡氏、伊藤氏、由良氏）にて議論の結果、新名称を「Biophysics and Physicobiology」とすることが決定した。

J-STAGE について、新名称での公開手続きを行っている。6 月 30 日までは「BIOPHYSICS」Vol.11 として、7 月 1 日からは「Biophysics and Physicobiology」Vol.12 として発刊する予定となっている。学会ホームページの BIOPHYSICS のページは、7 月 1 日より新デザインに変更予定である。PMC 審査状況について、過去 50 報分の XML データを審査する STEP3 (Technical Evaluation) が完了した。6 月 16 日現在、STEP4 (Preproduction Phase) に進んでいる。PMC 公開の目処が立ったため、トムソン・ロイターの Web of Science (impact factor) の取得に向けて、打ち合わせ日程調整中とのことである。特集号の企画について、昨年 12 月の編集委員会で次の特集号を組むことが決定した。タンパク質リガンド（由良氏）、細胞温度（石渡氏、船津氏）、イオンチャネル（老木氏）がそれぞれ担当する予定である。

平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）採択されたことが報告された。そのため、昨年度同様、海外からの投稿に対する掲載料ならびにページチャージは無料とする方針である。第 2 回 Biophysics and Physicobiology Editors' Choice Award の決定については、以下の 3 報を受賞論文とすることが決定した。「Y. Yamazaki et al., BIOPHYSICS, Vol. 10, pp. 1-7 (2014)」, 「H. Itoh et al., BIOPHYSICS, Vol. 10, pp. 109-119 (2014)」, 「H. Sunada et al., BIOPHYSICS, Vol. 10, pp. 121-133 (2014)」。

北尾 HP 編集委員長から、情報公開ページの新設と欧文誌ページのリニューアルについて報告があった。情報公開ページが完成し、理事会の議事録などが公開されている。

永井出版委員長から、J-STAGE のサービス方針の変更（予稿集の掲載に対応）について、報告があった。SUPPLEMENT（年会予稿集）を国立情報学研究所の学術情報発信事業（CiNii）にて公開していたが、同事業は 2016 年 3 月を目処に終了するため、新しい号を 2017 年以降追加することはできなくなった。J-STAGE がサービス方針を変更し、ジャーナルのみならず幅広い学術情報について掲載可能となったため、金沢年会以降の予稿集は J-STAGE で公開する。また、過去の CiNii のデータ（対象は、1999 年～2014 年の Supplement 号）は JST に移行して J-STAGE で公開される予定。

その他、分野別専門委員規定の変更、書籍「タンパク質カタログ（仮）→I♥タンパク質構造」の進捗状況について報告があった。タンパク質カタログは講談社から出版されることが決定しており、タイトルや執筆者などの検討状況が報告された。

4. 第4回 BIOPHYSICS 論文賞選考委員会報告（七田）：報4

七田論文賞選考委員長より、第4回論文賞受賞論文と受賞理由について報告があった。「T. Hayaashi et al., BIOPHYSICS Vol. 8, pp. 115-125 (2012)」を受賞論文とすることが決定した。

5. 男女共同参画・若手支援委員会報告（有坂・高橋）：報5

高橋男女共同参画・若手支援委員長より若手奨励賞審査委員および招待講演者10名の決定、若手賞応募フォームの変更、金沢年会での男女若手シンポジウム準備状況、女子中高生夏の学校参加準備状況について報告があった。若手奨励賞の応募者として外国人の応募が増えた。年会シンポジウム進捗状況については、企業で働いている方と話ができるような会にする予定である。女子中高生夏の学校には、高橋氏、大上氏、佐藤氏が参加し、ポスター発表を行う予定である。

6. 男女共同参画学協会連絡会報告（有坂・高橋）：報6

高橋男女共同参画・若手支援委員長から、男女共同参画学協会連絡会運営委員会参加報告があった。

7. 会員除籍と会員数の報告（須藤・今元・古谷・光武）：報7

前庶務担当理事の須藤氏から会員除籍報告および会員数の推移について報告があった。総会資料は除籍処理・退会処理前の人数であるため、会員数は増加しているように見えていたが、実際は減少。昨年に比べ181名減少。除籍候補者の中で滞納会費をご納入下さった方は正会員6名、学生会員1名であった。

8. 日本学術会議生物物理学分科会報告（永井）：報8

永井研究体制担当理事より、5月27日に開催された日本生物物理学会生物物理学分科会および学術フォーラムの企画について報告があった。学術フォーラムの進捗状況については、上田氏、有田氏、永井氏で議論中であるとのこと。昨年は8月に開催したが本年度は12月から2月の間で行う予定となっている。

9. IUPAB・ABA 関連事項（永井・金城・野地・高田）：報9

永井国際担当理事より、ABA2015参加報告があった。プログラム決定の恣意性が一番の問題点であった。「若手支援プログラム」として、参加者1名に旅費を支援した。次回はオーストラリアで開催する予定である。IUPAB タスクフォースとして、生物物理学の研究成果がなんらかの製品に結びついた事例を「新技術紹介」として公開しており、掲載事例の提供依頼があった。

10. 賞・助成金推薦委員会報告（船津・永井）：報10

永井賞・助成金選考委員から、育志賞受賞候補者推薦について報告があった。

11. 支部報告（支部長代理）：報11

寺沢九州支部長より、九州支部の活動報告および会計について報告があった。
支部だよりにて例会および活動内容の詳細を報告する予定である。

12. 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインについて（中村）：報 12

中村理事より、文科省からの国費使用についての通達についての説明があった。
学会でも科研費を使用しているため、取り扱う事務担当者が不正を防ぐために e-learning
を受講する必要があるかどうか、学振に確認する。

議題：

1. 会長・副会長の選任：資料なし

細則第十条より会長候補として選出された中村 春木 氏を平成 27・28 年度会長とすること、
および高橋 聡 氏、永井 健治 氏を副会長とすることについてご承認いただき、承認され
た。

2. 平成 30 年（2018 年）年会開催地について（中村）：議 2

中村会長から平成 30 年（2018 年）年会開催地について議題が説明された。6 月 15 日締切
で前理事を対象に平成 30 年の年会開催地アンケートを実施した。候補地として仙台、大阪
が多くなっている。その他横浜、静岡、岡山、四国・中国などの意見もあった。しかし、
岡山がこれまで一回も開催されたことがなく、キャンパスもしっかりしているため良いの
ではないかという意見があった。次回の理事会で最終決定することになった。

3. 会議等の英語表記について（中村）：議 3

金沢年会の安藤先生から、英語表記についてご指摘いただいた件について、各種表記を見
直す WG を結成した。副会長（永井氏）、庶務（古谷氏）、外交（高田氏）の 3 名で検討
していただくことに決定した。

4. 細則の変更について（中村）：議 4

会長候補は臨時社員総会の前に決定しているため、臨時社員総会でも会長候補を理事候補
として付議できるよう、細則改定について検討した。得票数の多い会長候補は理事候補で
はなくそのまま理事になって構わないのではないかという意見もあったため、今回の理事
会で決定するのではなく、今後もこの件について理事会で審議することに決定した。

5. 名誉会員規定の変更と名誉会員候補の承認について（中村）：議 5

法人化にともなう変更の反映。これまでは、年会直前の運営委員会（6・7 月）に名誉会員候
補を推挙し、年会中の総会で授与していたが、総会の位置づけが変更になったため、規定
も変更した。前々会長の難波 啓一 氏、前会長の七田 芳則 氏について名誉会員とするこ
とが承認された

6. 顕微鏡学会との連携について（中村）：議 6

物理学会担当を渉外担当と変更し、他学会との連絡窓口とすることとなった。

その他：

中村会長より就任のご挨拶。生物物理には多様性が必要。分野はもちろん、地域、年齢、性別や職種などを尊重したい。とくに、若手と女性の研究者が将来の希望を持ち研究できる環境を整備したい。参加者の負担を減らせるよう、今後はテレビ会議や電話会議などができるようにし、多くの人に参加してもらえるようにする。定時社員総会、年会以外の会合をテレビ会議でできればよいと考えている。アメリカでもジェンダーのことはバイアスをかけて積極的に取り組んでいる。この学会でも、理事会の半数を女性とするようにして、シンポジウムなどでも女性を増やしていきたいと思っているとのこと。

連絡事項：

1. 次回理事会日程について（中村）

第2回理事会 9月13日（日）11:50～12:40 金沢大学角間キャンパス諸会議室

※本年は、臨時社員総会（初日）・第3回理事会（3日目）は開催なし。

⇒その後の調整により、第2回理事会は9月13日（日）18:30～19:30 金沢大学角間キャンパス諸会議室2（G14会議室）に変更することとなった。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は17:00に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

平成27年7月30日

一般社団法人 日本生物物理学会 平成27年度第1回理事会

代表理事 中村春木（印）

監事 有坂文雄（印）

監事 片岡幹雄（印）